

# Your future is made by reading book 18号

2024年11月20日

前回の報告書より早2か月、この2か月の中で図書館の大きな変化で結果変わらなかったことと言えば、書架を修理するのにカーペンターが来るも仕事を途中で放り投げてしまったために、お金は支払ったものの、取り替えられた板部分はカンナ掛けされず、またニスで塗られる事は無く、続きをやりに来るのを一か月以上も待ち、しかしながらいつになってもやって来なく、その状態で再び使う事にしました。金銭の発生しているもので(カーペンターへの支払いを活動費から捻出) ガーナあるある、This is GHANA と決して片づけてはいけない事なのですが、今回私が一番大切にしたいと思ったのが(子どもの学びの時間を決して奪わない) というものです。これは別の活動報告書「ガーナでそろばんプロジェクト118号」に記した事と重なりますが、書架を直しに、トンカチ一つでやって来たカーペンターは見事なまでに書架に収められていた本を乱雑に放り出して、書架を外に出し作業を始め、その放り出された本を整理整頓するのに、たいせつな授業時間を潰して充てた為に、子どもが待ち望んでいた授業が出来なかったのです。一人図書館で放り出された本の整理整頓をしていると、そろばんを楽しみにしている生徒が、この片づけを早く終わらせてほしく手伝いに入るので。正直言ってしまえば、一人で整理整頓したほうが本の種類を揃え、背表紙を揃えられるので後が楽なのです。生徒が集めた本を渡され「ありがとう」と言う。それがまた子どもには嬉しくて、揃っていない本を集めては私の手渡すという事が続く中で、いつの時代も子どもたちは大人の勝手な行動や事情によって学びの時間を奪われているという事に気づかされました。子どもたちに手渡された種類の揃っていない本、背表紙の揃っていない本は、不思議なことに、翌日きれいに大きさも種類も背表紙も揃えられ床の上に並べられていたのです。中途半端なかたちで元の位置に戻された書架に、また本を入れる作業をして、どうしても納得出来ないカンナ掛けもニス塗もされていない部分を一か月以上も待っていたのです。先日、その箇所に入れる本を戻しました。もうこれ以上、カーペンター待ちで子どもの学ぶ時間を奪う事は無いでしょう。図書館の2階がそろばんの授業を待ち望んでいる6年生の教室です。休み時間に書架の整理整頓を一人でやっている、あの日そろばんがやりたくて手伝ってくれた生徒が私の姿を確認すると手伝い始めます。彼は私が何を基準に整理整頓しているのか全く知りません。私も説明することはありません。しかし、ここ最近の書架は以前よりも本がきれいに収まっているのです。彼がやっているのか、図書館の本を読んでいる生徒がやっている事なのかわかりませんが、子ども自身による整理整頓が続くと良いなとも感じた11月でした。

図書館建設サポーター 一般社団法人ギブアウェイ様

プロジェクトサポーター フェリシモ基金事務局様 矢東タイヤ様

KAWASHO FOODS (GULF) FZE 様

